

## 学習指導改善調査 実践モニター 実施計画書

私のプロフィール		
氏名	高橋 雅彦	
勤務先	十日町市立十日町小学校	
○ 実践教科 国語		

### ★取組の方向

私	<p>音読や読書に取り組み、繰り返し文章を読むことで日本語に慣れます。漢字を書くことで漢字の使い方を覚えます。作文やノートを見ると、間違えることを嫌がって漢字を活用しない児童が増えているように感じます。せっかく漢字を学習して、テストで高得点をとっても、普段書く作文やノートにはそれを生かそうとしないのです。何のために国語を学習するのでしょうか？ 日本語を正しく理解し、正しく活用できる児童は他の教科の成績もよくなります。また、自分を表現しようとする意欲や自信も高まるはずですが、目標をもたせて活動に取り組み、学力を向上させることができるように、日々の実践を繰り返す必要があります。</p>
学級の実態	<p>漢字はドリル学習を中心にテストを重ね、確実に身に付けられるようにしてきました。その成果が少しずつですが、テストの結果や作文の文章中に表れてきています。また、作文の課題を設定したり、短作文を暗記して発表する練習をしたりして、定期的に取り組んできました。しかし、新潟県小学校教育研究会の国語のテストでは、資料を生かした内容の作文を思うように書けた児童はほとんど見られず、採点による平均の正答率は50%以下でした。この結果を分析すると、資料から内容を読み取る力や短時間で自分の考えを記述する力が不足していることが分かりました。</p>
今後の指導の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや思いを自由に記述するこれまでの作文の中に、小教研のテスト問題のような、課題を明確にし、制限された文字数の中で自分の考えを展開する課題を加えます。</li> <li>・句読点の位置や段落構成、会話文・強調の書き方など、文法面できちんとした作文が書けるように繰り返し添削指導をします。</li> <li>・漢字は読めるだけでなく、しっかりと書けるようになるまで継続して学習します。また、習得状況の確認のため、テストによる見取りを実施します。</li> <li>・教科書だけでなく、音読用の文章を用意し、文章をすらすらと読めるように練習を繰り返します。また、家庭学習で自主的に取り組むためのカードを用意して活用を促します。</li> <li>・詩や古典作品の暗唱に取り組み、日本語の文章を記憶して語彙を増やすようにします。</li> </ul>